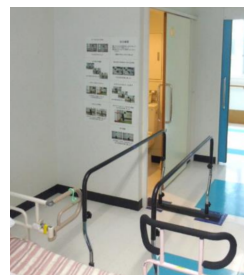


③環境調整

a. トイレまでの移動

- i. トイレに至るまでの段差の解消、障害物の除去、手すりの整備を検討する。
- ii. トイレまで尿を我慢できない患者には、ポータブルトイレや尿器の使用を検討する。
- iii. トイレの場所が認識できない患者に対しては、明確に場所の提示をする。
- iv. スリッパやサンダルは使用しない。
- v. 尿意切迫感により慌ててトイレに行ってしまう場合、下部尿路症状が軽減するまでは、安定性の高い歩行補助具を検討する。



動線に手すり設置



トイレの場所を提示

b. トイレ内動作

- i. 尿意切迫感や衣服の着脱に時間がかかる患者では、前開きの下着など、素早く脱衣ができる衣類を工夫する。特に尿意切迫感の強い患者においては、何枚も衣服を重ねて着こんでいると間に合わない事が多い。部屋を暖房にするなど快適な環境を作ることにより厚着を避けることができる。
- ii. 立ち上がりが難しい患者では、補高便座を検討する。
- iii. 方向転換などが不安定な患者に対しては、手すりを把持する位置など色テープで印を付け、動作がスムーズに行えるよう検討する。



トイレ内に手すりを設置



補高便座の利用